

山行報告書

報告書作成

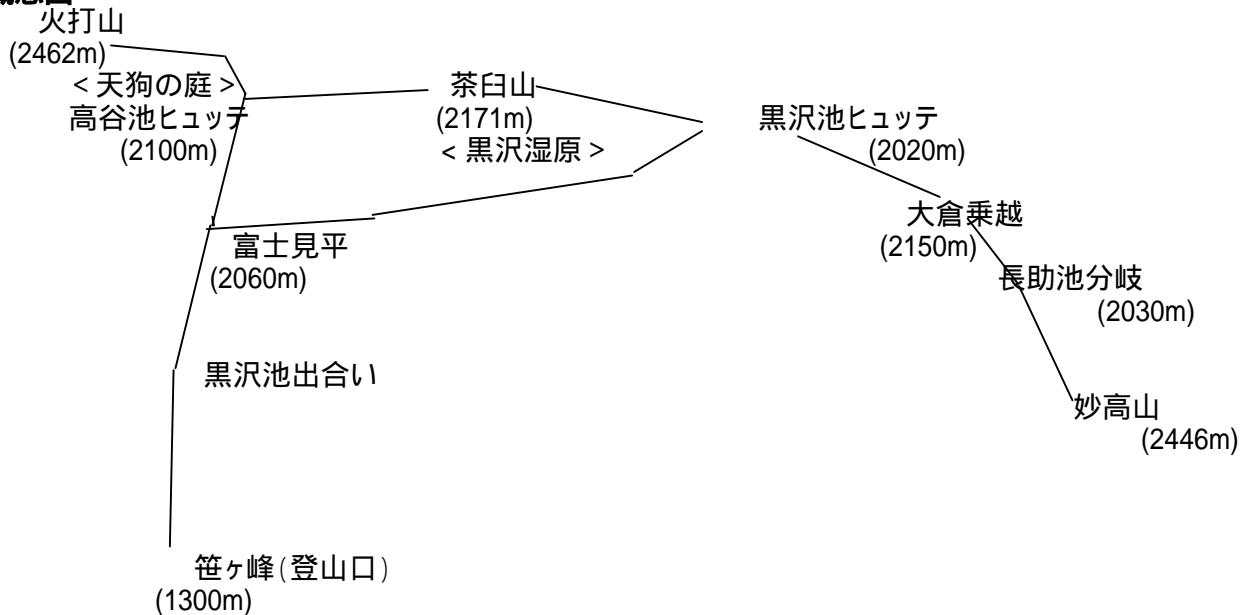
2005年10月22日

山名 [山域]	妙高・火打岳 (頸城三山)	目的と方法	早い紅葉を楽しむ
登山期間	10月1日(土)～2日(日)	山行形態	一泊二日
参加人数	4人		

行動記録

1日(土)旧市民病院P4:00 = 豊田東IC4:25 = 東海環状道路 = 妙高IC7:25 = 笹ヶ峰着7:55 - 登山口出発8:10 -- 黒沢出合い8:55 - 富士見平10:10 - 高谷池ヒュッテ11:10 (テント設営・休憩)12:05発 -- 火打山頂13:30 -- 高谷池ヒュッテ14:45 -- 就寝18:30
 2日(日)起床5:20、(朝食・テント撤収)7:00発 -- 黒沢池ヒュッテ7:45 (ザックデポ)8:00発 - 長助池出合い9:00 妙高山9:45 (15分休憩) - 黒沢池ヒュッテ11:40 (休憩・帰り準備)12:00 - 富士見平12:45 - 黒沢出合い13:50 - 登山口着14:35、駐車場発14:55 = 杉の沢温泉(苗名の湯)15:20 ~ 16:00 = 梓川SA17:15(夕食)17:40 = 岡崎IC20:15 = 旧市民病院P20:20

概念図



日誌

上信越方面は、昼ごろから悪天候になる予想の中を北へ向かっていく。松本辺りまでは天気がよく、道中で南ア・中央ア・北ア南部までは山並みがよく見られる。登山口の笹ヶ峰の駐車場に8時に着くが30台の駐車場は満車。さすがこの時期の人気コースだと思われる。

黒沢出合までは木道が多く、ゆるやかに続く。その後、十二曲り辺りで急登が続く。富士見平辺りからは緩やかになる。高谷池までの途中の道で火打山や焼山が望まれ、写真を撮る。(この時が、最初で最後の眺めであった。)11時頃から雨が落ち出す。雨の中をテントを張り、休憩をとる。12時すぎから火打まで合羽を着てピストンする。途中の天狗の庭は、すばらしいと思った。その後、上りが続き、頂上に着く。天候が悪く、展望がきかず、すぐ引き返す。3時ごろ、テントについてからビールで登頂記念の乾杯をする。酒盛りの後、夕食のカレーを食べ、6時過ぎには眠ることにする。

翌朝、午前3時ごろから雨音が強くテントをたたき、5時すぎに起床。妙高は無理かと案じられたが、予定通り7時に黒沢池ヒュッテに向けて出発する。ヒュッテに荷物を置き、8時に軽装で妙高へ出かける。大倉乗越まで上りが続くが、その後予想以上に下る。長助池出合いから頂上まで上りが続く。妙高山山頂は平らなところが多い。雨も小止みになったので、15分ほど休む。黒沢池ヒュッテで荷物をまとめ、帰路に着く。富士見平までの湿原は広く、日光の戦場ヶ原みたいで、もう一度晴天の下で来てみたいと思った。小雨は続いたが、順調に下り、笹ヶ峰の駐車場に到着したのは、午後2時40分になった。杉の沢温泉に浸かり、帰路途中の梓川SAで夕食をとって、午後8時20分に岡崎に着いた。

悪天候の中であったが、ほぼ予定通りの日程で百名山の火打山・妙高山に登頂することができてよかった。もう一度好天の時に来てみたいすばらしい景色が、垣間見られた。